

〈解答〉

①	1 まぎ	2 じんりよく	3 まんきつ	4 貯蔵	5 縦	6 運
②	1 ク	2 オ	3 エ	4 ウ	5 ア	6 コ
	9 サ	10 ケ	11 イ	12 シ	7 カ	8 キ
③	1 イ	2 ウ	3 オ	4 エ	5 ア	6 カ
④	1 かなわぬ	2 やしない	3 ゆうべ	4 つたえたる		
	5 おおせ	6 いのしし	7 えぶみ	8 おとこ		
	9 じゅうばこ	10 みずぐるま	11 いちがつ	12 かんぱく		
	13 やんごとなし	14 きょうく	15 あたらしゅう	16 ひつよう		
	17 こんりゅう	18 おうぎ	19 きょうあす	20 とうとぶ		
	21 きょうほう					

配点 各1点 45点満点

〈解説〉

- ① 「紛」の音読みは「フン」で、紛失・紛争・内紛などの熟語がある。
- ② 「尽」の訓読みは「つ(くす)、つ(きる)、つ(かす)」。「尽力」とは「力をつくすこと」。
- ③ 「満」の訓読みは「み(ちる)、み(たす)」。「喫」は「食べたり飲んだりすること」で、「満喫」とは「じゅうぶんに味わうこと」。
- ④ 「蔵」の訓読みは「くら」。「貯蔵」とは「たくわえてしまっておくこと」。
- ⑤ 「縦」の音読みは「ジュウ」で、縦断・操縦などの熟語がある。
- ⑥ 「運」の音読みは「ウン」で、運営・運転・運動・運命・運輸・幸運などの熟語がある。
- ②
- あれもこれもとねらって、結局どれも得られないこと。欲張りすぎて失敗すること。
 - 用心の上にも用心を重ねるたとえ。
 - 達人も時には失敗することのたとえ。
 - うっかり言ったことからわざわいを招くことがあるから、言葉は慎むべきだ。
 - 自分の専門でも、わが身に関しては、案外おろそかにしがちなこと。
 - 幼いときに覚えたことは年をとっても忘れない。

- 7 差が非常に激しいことのたとえ。両者とも形（丸い点で）は似ているところから。
- 8 権力や勢力のある者にはかなわないから、反抗せずに従っているのがよい。
- 9 （泣いている顔を、さらに蜂がさす意。）不幸に不幸が重なるたとえ。
- 10 手ごたえがないことのたとえ。
- 11 （小判の価値はネコにはわからない意で、）どんな立派なものでも持つ人によっては何の値打ちもないことのたとえ。
- 12 何度も人から聞くよりも実際に自分の目で見る方がまざっている。

③

- 1 危険な近道をするよりも、遠回りでも安全確実な道を歩いた方が結局は得策であることのたとえ。
- 2 凡人の子はやはり凡人であるというたとえ。
- 3 幸運は人力を越えたものだから、あせらず時機が来るのを待て。
- 4 好きだからこそ上手になれる。
- 5 退き際のいさぎよききれいであるさまの形容。
- 6 他人を簡単に信用してはいけない、泥棒と疑ってかかるくらい用心深くせよ。
- ア 今さえよければ後がどうなろうとかまわない。
- イ よいことをしようと思いたったら、なるべくはやく実行するのがよい。
- ウ 平凡な親から非凡な子が生まれるたとえ。
- エ 下手なくせに好きで熱心であること。
- オ 何もしないのによい報いを期待してもそれは得られない。
- カ 世間の未知の人はこわく見えるが、困れば助けてくれるようなやさしい心を持っているものだ。

④

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが、古文読解の基本であるので、以下の原則に精通すること。原則① 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は、それぞれ「わ・い・う・え・お」と読む。(1～5) 原則② 助詞以外の「ゐ・ゑ・を・ぢ・づ」は、それぞれ「い・え・お・じ・ず」に直す。(6～10) 原則③ 「くわ・ぐわ」は、それぞれ「か・が」と読む。(11・12) 原則④ 「む」は「ん」と読む。(13) 原則⑤ 「au・iu・eu」の音は、それぞれ「o(おう)・yū(ゆう)・yō(よう)」と読む。kyauku → kyōku (14) atarasu → atarasyū (15) hitneu → hituyō (16) konri → konryū (17) aŋgi → ōgi (18) keuas → kyōasu (19) tautobu → tōtobu (20) keuhou → kyōhō (21)